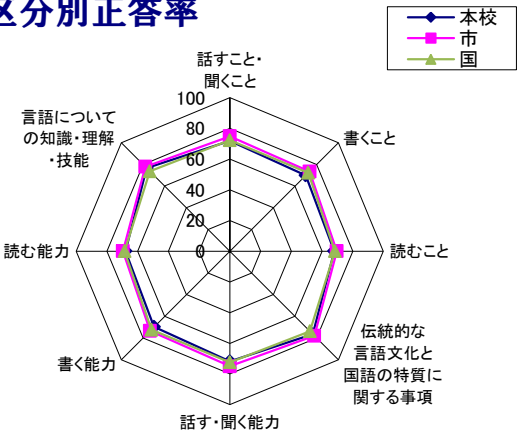


宇都宮市立石井小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

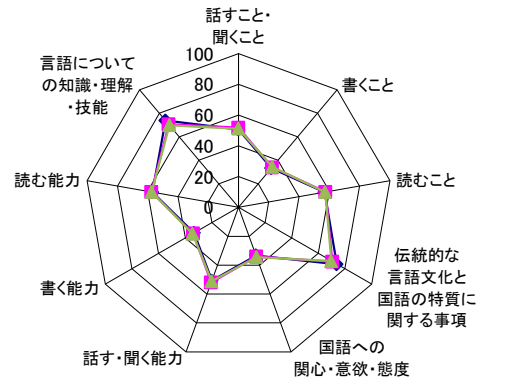
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	71.8	74.9	72.4
	書くこと	69.8	73.4	72.2
	読むこと	67.9	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	71.8	74.9	72.4
	書く能力	69.8	73.4	72.2
	読む能力	67.9	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	76.5	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	50.7	51.9	51.2
	書くこと	33.3	34.0	34.4
	読むこと	56.9	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.9	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	33.3	34.0	34.4
	話す・聞く能力	50.7	51.9	51.2
	書く能力	33.3	34.0	34.4
	読む能力	56.9	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	73.9	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

- 「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答の割合が多く、国語の大切さと有効性を自覚し、学ぶ意義を理解している児童が多いことがわかる。
- 「読書は好きですか」に対する肯定的な回答の割合はあまり高くなく、本を読む時間も短いことから、本に慣れ親しむ機会を積極的に設け、読書の楽しさを味わわせる指導が必要である。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する設問において、多くの児童が話し合いの観点に基づき情報を関連付けてとらえている。 ●討論会で話し合いを行う設問において、自分の立場を明確にして質問や意見を述べることに不十分さがみられる。	・話し合い、インタビュー、スピーチなど目的や相手に応じて話したり聞いたりする活動において、相手の考えをよく理解し、自分の立場や意見を順序立ててわかりやすく説明する機会を意図的に設け、指導する。 ・ことばの時間との連携を図り、聞き方や話し方のスキルを身に付けさせるようにする。
書くこと	○複数の内容を含む文を適切に直す設問において、並列の関係を表す言葉を用いたり仮定の表現を使ったりして正しく表現することができる。 ●情景描写に関する設問では、情景描写の効果を十分にはとらえていないため、正しく理解するまでには至っていない。	・作文指導の中で、より良い表現を常に意識させ見直す推敲の学習を効果的に行う。 ・意見文や説明文から作者の意図を読み取り、自分の意見として表現しなおす活動を意図的に行う。また、物語や詩から読み取った内容と自分の生活を比べて意見や感想を書く時間を確保するようにする。
読むこと	○物語の登場人物を把握する設問において、登場人物の相互関係を正しくとらえながら読み取ることができる。 ●詩を読み、その解釈として適切なものを選択する設問では、詩の解釈の着眼点の違いを正しくとらえることができない児童がみられ、読み取りに不十分さがある。	・詩や説明文などを読むときに、自分の考えと相手の考えを比較し、共通点や相違点をとらえる学習を取り入れる。 ・読書活動を一層推進するとともに読書を楽しめる環境の整備に努める。また、読み聞かせやブックトークなどの時間を確保し、いろいろな分野の作品に触れる機会をもつようにさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○学習した漢字を正しく書いたり読んだりすることができ、また故事成語の意味と使い方もおおむね理解している。 ●同音異義語の中から適切なものを選択する設問において、国語辞典を活用し言葉の意味と使い方を整理してとらえる力に不十分さがみられる。	・様々な機会でも国語辞典を活用させ、調べる学習を繰り返すように行う。 ・既習の漢字を日常的に使えるよう今後とも働きかけを行うようにする。 ・故事成語やことわざなど興味が深い様子がうかがえるので、日常生活の中で意識的に使えるようにさせる。